

人口ビジョンについて

熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会資料
令和元年 8 月 7 日

人口ビジョンについて

対象期間 変更なし

令和32(2050)年まで 国の長期ビジョンは令和42(2060)年までであるが、地域の実情に応じて設定可能

人口の将来展望 変更なし

推計条件 ・ に変更なく、令和32(2050)年に70万人程度の人口の確保を見込む

合計特殊出生率

令和12(2030)年に2.0(県民希望出生率)、令和22(2040)年に2.1(市民希望出生率)まで上昇すると想定

2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
1.52	1.7	1.9	2.0	2.05	2.1	2.1	2.1

- ・ 国の長期ビジョンは、令和42(2060)年の人口の見通しについて、平成26(2014)年当時の推計値と大きく変わらないことを有識者会議で確認。
- ・ 市の人口ビジョンは、平成27年(2015)年時点での推計に利用した数値に実績値及び今後の見込値を反映して試算し、国同様当時の推計と大きく変わらないことを確認。

移動数

年間平均400人程度の転入超過数で推移すると想定
平成22(2010)～平成26(2014)年までの平均値

見直しの方向性

- 「地方人口ビジョンの策定のための手引き」より(令和元年6月版)
- ・ 中長期的には人口の自然増が重要であるという観点を重視しつつ、**時点修正が必要**。
- ・ 各地方公共団体の地方人口ビジョンにおいて、**人口の社会増のみを追求した場合には、国全体の人口増加につながらない**ことに留意。
- ・ 外国人人口が全体の多くを占める地方公共団体や今後その増加が見込まれる地方公共団体においては、**外国人人口の影響についても留意**。
外国人人口割合
全国：人口の約2%、熊本市：人口の約0.7%

【見直しの方向性】

- ・ 最新の数値や状況の変化を踏まえ**時点修正**を行う。
- ・ 人口の将来展望については**現状維持**する。